



思・誠・愛

人権教育強調月間のまとめ「いじめ追放集会」

11月29日（水）に、「いじめをしない、させない、許さない」ことを確認し誓うことを目的として、いじめ追放集会を行いました。この集会は、春と秋に実施する人権教育強調月間のまとめとして、毎年2回行っています。今回の集会では、まず、各学年で学んだ人権教育の内容を振り返り、感じたことを発表しました。続いて、私たちが、いじめをしない、させない、許さないために、「具体的にどんなことを知ったり学んだりすることが大事なのか」「具体的にどんな場面の発言で、何を意識して発言しなければならないのか」をグループで話し合い、意見を発表し合いました。短い時間でしたが、全員で真剣に話し合うことができました。話し合いを通して、いじめかどうかは周りが判断するのではなく、いじめを受けている本人がいじめと感じたらそれはいじめである、ということを変更して確認しました。この集会後の12月初旬頃にアンケートも行い、日頃の生活の中での気になる点について振り返る場面もとりました。たくさんの方が生活している場所だからこそ、相手はどう感じているか、常に相手を思いやって生活することが大切です。



まずは、グループで話し合い。



次に、全校で話し合います。



積極的に意見が出されました。

研究授業～GWTの視点を授業にも取り入れて～

11月22日（水）に、数学の研究授業を行いました。GWTの視点を取り入れた数学の授業（2学年「三角形の合同」の単元）です。講義形式の授業ではなく、GWTの時のように、グループで相談する場面、ペアやチームで協力して活動する場面をたくさん取り入れた数学の授業でした。生徒自身が考えを表現し、伝え合うことで、思考力・判断力・表現力を高めることがねらいです。生徒の皆さんは、仲間と協力しながら、よく考え、答えを導き出そうと熱心に学習を進めていました。これからも、生徒が表現する場面を大切にし、力を伸ばす授業を行うために、授業改善に努めていきます。



授業の始めに、ペアで、アウトプット数学（問題を出題し合う活動）を行い、既習内容の復習をしました。

グループのみんなで今日のMission（課題）に取り組みました。



最後は、ひとり一人、定着問題を解きました。授業を振り返り、できるようになったか確認しました。

PTA親子作業&大豆の収穫作業

11月25日(土)に、1学年の生徒の皆さんや保護者の方々を中心に、PTA親子作業が行われました。当日は、とても寒い朝となりましたが、仲間と協力したり、親子で会話を交わしたりしながら、温かい雰囲気で行うことができました。保護者の方のお力を借りて、普段はなかなか手が入らない、側溝の泥上げや落ち葉の片付けなどの作業をしていただいたおかげで、とてもきれいになりました。ありがとうございました。

また、同日、学校内にある農園では、大豆の収穫作業も行われました。何度も雨天で中止となり、この日、やっと行うことができました。PTA施設厚生部の方をはじめ、1学年の保護者の方など、大勢の方にお手伝いいただきました。ありがとうございました。収穫量は少なかったですが(昨年度約100kg、今年度約10kg)、なごみで行う「みそ造り体験(2月)」に使わせていただく予定です。



大量の落ち葉を集めました

側溝の泥上げや落ち葉の片付け



農園での大豆収穫の様子

JA今井・山形の皆様のご厚意で、おいしいりんごをいただきました

5月に実施した摘果作業へのお礼として、JA今井・山形の皆様のご厚意でおいしいりんごをいただきました。「今年は猛暑で生育状況が心配でしたが、一生懸命にお世話をしてなんとか収穫をすることができました。」とJAの方はおっしゃっていました。私たちの作業は、半日でしたが、摘果作業の後も農家の方が苦労しながら育てたりんごです。ご苦労に思いを馳せながら、感謝の気持ちでいただきたいと思います。また、これを機に自分たちが暮らす地域を改めて知る機会にしたいと思います。



5月に行われた摘果作業の様子



おいしいりんごをいただきました

その他

保護者懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。また、その際、調査の用紙をポストへ投函していただき、ありがとうございました。職員一同で今後も研修を行い、お子さんが安心して学校生活を送ることができるようにしてまいります。

